



広報

いちき串木野

愛がいつぱいのまち
Ichikikushikino City
Public Relations

10

2021年10月20日発行
VOL.192

ライン
**LINEでいちき串木野市と
友だちになろう！**
市LINE公式アカウントを開設しま

二次元コードを
読み込んで友だ
ち追加をタップ



子育てや保健情報、イベント案内、防災情報などをLINE
アカウント「いちき串木野市」にて発信していきます。
11月より開始予定の食のまち応援LINEクーポンもこの
トから配布し、今後さらなる機能拡充も予定しています
ぜひこの機会に友だち登録をお願いします。

◆友だち追加の方法（ご利用方法）◆

※次のいずれかの方法で友だち追加できます。

・二次元コード

下の二次元コードを
読み込み、友だち追加を



・友だち検索

LINEアプリの友だち検索で

・市ホームページ

市ホームページの「LINEでい
ちき串木野市と友だちになろ
う」ページから下のボタンを

特集

- ・LINEでいちき串木野市と友だちになろう！
- ・食のまち応援クーポン配信

※LINEアプリの
店等へお問い

〇問合せ 企画政策課 0935-3071



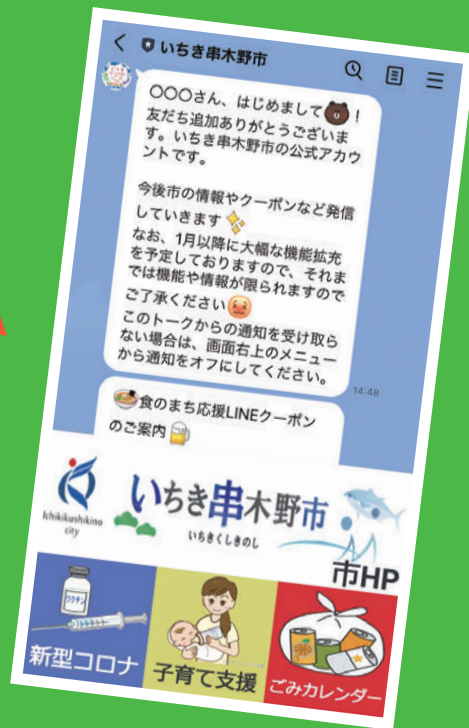
いちき串木野市と で 友だちになろう！

市LINE公式アカウント を開設しました！



※カメラ、二次元コードリーダーからも読み取れます。

二次元コードを
読み込んで
友だち追加を
タップ



子育てや保健情報、イベント案内、防災情報などを LINE 公式アカウント「いちき串木野市」にて発信していきます。

11 月より開始予定の食のまち応援LINEクーポン（詳細は右ページへ）もこのアカウントから配布し、今後さらなる機能拡充も予定しています。ぜひこの機会に友だち登録をお願いします。

お友だち追加方法



① 「ホーム」右上の「友だち追加」のアイコンをタッチ



② 二次元コード読み取りのアイコンをタッチ



③ 二次元コードをカメラで読み込む



④ 追加で登録完了

または「友だち追加」から「ID 検索」で登録もできます 🔍 @LINE.ICK_CITY

※LINEアプリのインストール方法は、端末により異なりますので、端末の購入店等へお問い合わせください。

○問合せ 企画政策課 ☎33-5672

11月8日(月)より 食のまち応援 クーポン配信!

11/8～1/30
毎週月曜日
配信予定

※予算に達し
次第終了



LINEクーポンを提示すると、
1,000円以上の支払いで**500円**割引

本市LINE公式アカウントの友だちになると、登録された市内飲食店で利用
できるLINEクーポンを毎週月曜日に受け取れます!

※利用可能登録店舗は11月5日号広報紙や市HP、LINEにて随時お知らせ
します。

利用の流れ

まずはLINE公式アカウント「いちき串木野市」を友だち登録!

- 1** 下の二次元コードを読み取り、
もしくはLINEで「いちき串木
野市」を検索し、友だち登録
※左ページ参照



- 2** 毎週月曜日、また
は新規登録時に
クーポンを受取り



- 3** 配信中のクーポンの
有効期限の確認



お会計のとき

- 4** お店にある「クーポン利用カード」
に氏名、連絡先、日時、クーポン
数を記入しレジで会計



- 5** LINEクーポン画面
を店員に見せる



「使用済みにする」は
必ず会計時に店員の確認
後タップしてください。
※会計前に使用済みになった
クーポンは利用できません。

フッ素で歯を守ろう ～フッ素の効果～

最近、よく耳にするフッ素(フッ化物)ってなあに？

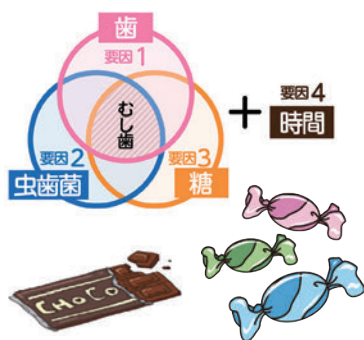
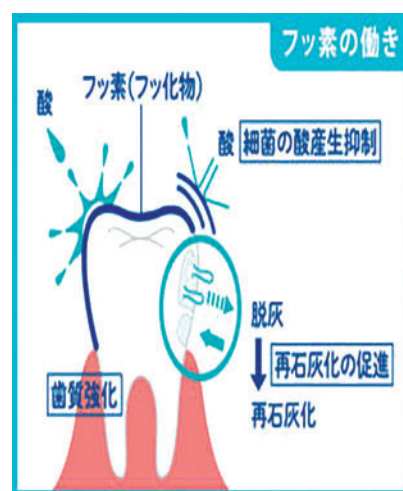
フッ素は、ほとんどの食べ物に含まれている自然元素で、歯や骨にとって欠くことのできない微量栄養素です。歯の質を強くし、むし歯菌の活動を抑えます。

フッ素入りの歯磨き剤を使ったり、歯科医院や市の乳幼児歯科健診でフッ素を塗ったりするなど、自宅や学校でフッ化物洗口を併せて行くと更にむし歯予防の効果が高くなります。

フッ素のチカラ



※フッ素1ppmとは、1kgあるいは1リットルあたり1mgのフッ素を含む。



- ◆むし歯は、**歯**、**むし歯菌**、**糖**の3つの要素に『**時間**』の経過が加わって出来るといわれています。
- ◆歯磨きはむし歯予防の定番で知られていますが、残念ながら**歯磨きだけではむし歯を防ぐことはできません!!**
- ◆お口の中に飲食物(特に甘いもの)が入っている時間が短ければむし歯になる可能性が低く、長ければ、(または回数が多ければ)むし歯がでやすくなります。



定期的に歯科検診を受けましょう

むし歯の有無以外にも歯並びや口の粘膜の確認等も行います。治療だけでなく予防指導も受け、細かいアドバイスを受けることができます。

* 歯周病検診のお知らせ *

40、50、60、70歳の節目年齢(R4.4.1時点)で検診希望者には受診票を個別に送付しています。検診を希望する方はご連絡ください。

受診期限は11月30日です。

○問合せ 串木野健康増進センター ☎33-3450



秋の全国交通安全運動 中学生が交通安全グッズ作成



9月21日、市来中学校の生徒たちから交通安全を呼びかける三角すいPOPが、いちき串木野警察署や地区交通安全運転管理協議会・地区交通安全協会青年部に手渡されました。

この三角すいPOPは秋の全国交通安全運動の一環として作られたもので、交通安全に関する標語の下に生徒が手書きのメッセージを書き込みました。

現在、市内各所の飲食店や販売店等に設置されています。

串木野まぐろ大使を委嘱しました



9月28日、市まぐろ漁業母港基地化推進協議会がまぐろの母港基地化と串木野まぐろのPRのため、3名の方に「串木野まぐろ大使」を委嘱しました。3名の串木野まぐろ大使は今後イベントやSNSで、本市のまぐろのPRを行います。

串木野まぐろ大使は次の方々です。

ジミー入枝(歌手・タレント)

竹原勇輝(たけどん、観光案内所職員)

塩田亜耶子(発酵料理研究家)

10月10日まぐろの日キャンペーン 冷凍まぐろ販売とまぐろ祭り



10月10日のまぐろの日に合わせて、鹿児島まぐろ船主協会がエコープ串木野店において、いちき串木野の船が獲ってきた「薩州串木野まぐろ」のPR活動と、冷凍メバチマグロ(500円)の販売を行いました。通常価格の半値程度とあって、多くの方が買い求めていました。

また、10月10日から11月9日まで、市内飲食店18店舗において、まぐろ料理を食べて、シールラリーを行うまぐろ祭りが開催中です。シールを集めて応募すると、抽選で豪華賞品が当たります。

ぜひご参加ください。詳しい内容は、市特産品協会(☎32-2049)または、二次元コードからご覧ください。



市来中学校が校旗を新調しました



9月2日、新調した校旗が市来中学校へ届きました。

今までの校旗は30年以上使用しており、今年75周年を迎えた市来中学校への卒業生等からの寄付金を活用し、新しい校旗を市内事業所の亀崎染工(有)さんに作成してもらいました。

生徒会の赤崎会長、佐抜副会長は、新調された校旗を受け取り、「体育祭でのお披露目が楽しみ」と嬉しそうに話していました。



長寿を祝う 敬老訪問



畑山 榮藏さん
(104歳)
石川山公民館

9月14日から17日まで市内の高齢者を対象に敬老訪問を行いました。市では毎年、9月1日現在で満80歳・88歳・90歳・95歳・100歳以上の方に、長寿祝金等を贈っています。今年は888名の方にお祝いを贈りました。

いつまでもお元気で長生きしてください。

100歳おめでとうございます。



8月28日に平川スミエさん(生野)が、100歳の誕生日を迎えられました。

平川スミエさんには、市からお祝いの花や記念品などを贈呈しました。現在、本市の100歳以上の方は39名(10月1日時点)です。

いつまでもお元気で長生きしてください。

株式会社ヒガシマルとプリマハム株式会社が起工式を行いました



起工式(株式会社ヒガシマル(左)・プリマハム株式会社(右))

今年3月に立地協定を締結した㈱ヒガシマルとプリマハム㈱が西薩中核工業団地でそれぞれ起工式を9月7日と9月16日に行いました。

㈱ヒガシマルは令和4年7月に、プリマハム㈱は令和5年3月に竣工を予定しています。

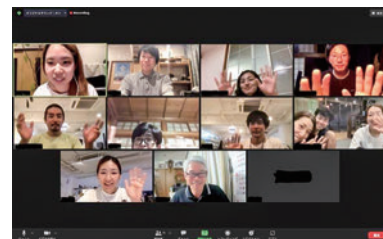
両社の新工場の操業により、本市の経済の発展及び新たな雇用の創出が期待されます。

よりみち会議でうち時間

「えんたく」は2020年より冠岳小学校の利活用に関する話し合いの場として“よりみち会議”を開催しています。

初オンライン開催1回目となる8月19日は南九州市川辺町にあるリバーバンク森の学校(以下:森の学校)の管理人・永山貴博さんをお招きし、廃校活用の背景や周辺地域との関わり方等についてお話を伺いました。永山さんは、森の学校の運営をはじめアウトドアアクティビティ企画をされています。

永山さんには昨年冠岳に一度足を運んでもらい、森の学校での活動について講演いただいたご縁があります。会の中で「冠岳小学校を使ってキャンプができればいいですね」と参加者の声があったので、もしかしたら今後実現するかもしれません。永山さんと冠岳との関わりも楽しみです。



9月9日の回では『オンラインを活用して冠岳小学校内でできること』をテーマに話し合いが行われました。

「学びの場を提供したい」「冠岳の人と交流ができる体制を整えたい」等、今回も参加者の皆さんの思いが飛び

交う場となりました。サワーポメロを活用したワークショップの開催や外国人との異文化交流まで話題が広がり、アイデアが無限制に出てきて話が尽きませんでした。新型コロナウイルスの影響で行動やイベントが制限される中、今自分たちができることを持ち寄ってやっていこう。そんな思いも参加者一人一人から伝わってくる時間でした。

「えんたく」とは？

いちき串木野市の生福・冠岳エリアにて円卓を囲ってお茶をするひと時のように地域の和に入りフラットに話をする関係性であることをめざしたコミュニティです。

えんたく公式 LINE



友達登録してね！！



後藤香音

Profile Picture: こじょうかえで

こんにちは！薄手のカンフーシャツが手放せない季節ですね！
今月もとめどなく溢れるアイデアを形にするのに大忙しです。企画の秋ですね！



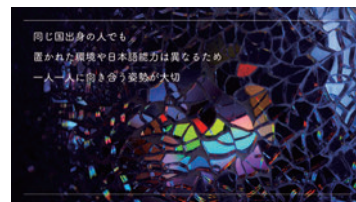
【9月の主な活動】

鹿児島県国際交流協会と共催の「ベトナム理解講座」では、ベトナム出身のゲストスピーカーの方々から、ベトナムの文化、習慣、言語、仕事や生活に対する価値観などを学びました。

「日本語サポーター養成講座」では、多文化共生、多角的な視点に関するプレゼンテーション(下図)を行いました。神村学園専修学校日本語学科の先生方からは、やさしい日本語で寄り添うことや傾聴などの重要性を教えてくださいました。二つの講義に対して参加者からは、「街中で会ったら積極的に話しかけたい」「ゆっくりとわかりやすく話したい」という声が上がりました。外国人市民と交流する際、双方が心地良いコミュニケーションをとるためのヒントになれば嬉しいです。

【これから】

「英語のまち」いちき串木野市の職員が外国人市民と積極的に交流するきっかけにするため、イングリッシュワークショップを市役所職員向けに月1回行っています。そして、何らかの形で「いちき串木野市の文化や風景を記録するもの、コロナ禍の街、人、記憶など「つながる」ことに思いを馳せる機会になるようなもの」を作りたいと考えています。続報をお楽しみに！



おれんじコーナー

No.1

こんにちは！認知症地域支援推進員の逆瀬川です。
これから毎月、「認知症になっても安心して暮らせるまち」を目指して、認知症に関する様々な情報を掲載します。

にん ち しょう ち いき し えんすいしんいん

認知症地域支援推進員とは？

認知症に関する普及啓発活動や、認知症の人が、必要なサービスや支援を適切に受けられるよう支援するための、医療・介護事業所、地域の支援機関の連携支援、本人やそのご家族の相談対応などを行っています。

9月は、認知症を理解し一緒に歩む県民週間に併せて、市内の認知症に関する取り組みを行っている「キャラバンメイト」のいる医療・介護事業所へ、のぼり旗の掲示の依頼、市立図書館へ認知症コーナーの設置、市役所ロビーでの展示などを行いました。

“最近、物忘れが気になる”など、心配や不安があったら
まずは地域包括支援センターにお気軽にご相談ください。



認知症の人にも「愛」がいっぱい
いちき串木野市
Ichikikushikinoshi



相談窓口

市地域包括支援センター
(串木野庁舎 2階)
いちき串木野市昭通133-1
☎33-5644

株式会社 セブンプラザ串木野マックス館



企業の概要

“売りっぱなしは致しません！！”をモットーに地域にお客様に寄り添える会社を目指します。一般家電製品からキッチン、バス等の住宅設備商品、太陽光発電S、蓄電池Sと幅広い商いを通じて地域やお客様のお役立ちを喜びと感じながら「喜びを分かち合う」をスローガンに全員経営で日々精進しております。

従業員数 16 名
経営理念 「喜びを分かち合う」
お客様満足度を極める
職場満足度を極める
世の中に感謝
所在地 〒 896-0021 住吉町 6455 番地
電話番号 32-2044

社員の企業アピール 徳留 圭さん



当社では家電製品の販売は勿論の事、修理や工事、またリフォームなども行っております。活動地域は市内が殆どで、担当地区が任されており、お客様も地元のお客様が多く、地域密着型の電器店です。

お客様と触れ合う中、新しい発見ばかりで充実しているため、飽きる事がなく、日々自分の成長を感じております。社内もアットホームな感じで、皆の仲が良く雰囲気がとても良いため、非常に働きやすい職場です。

医療法人健仁会 市来内科・ひふ科・市来内科介護医療院



企業の概要

当院は国道3号線沿い「A コープ大里店」すぐ近くの有床診療所です。

外来は、高血圧症・糖尿病などの生活習慣病から、大腸カメラ等による消化管検査、頭部CT等による脳卒中診療、皮膚科専門医による皮膚科診療を主に行っており、常勤医師3名と非常勤医師2名体制で診療科の垣根なく医院一丸で疾患の改善に努めています。

また、当院には一般病床6床と、要介護の方が長期療養ができる介護医療院（13床）があり、通院・在宅・入院・看取りまで療養生活を切れ目なく支えることができます。

これからも、職員一同、一人ひとりの心に寄り添ったきめ細やかな医療と介護を提供することを心掛けていきます。

従業員数 46 名
基本理念 「患者様中心の医療」
「心の通ったあたたかい医療と介護」
所在地 〒 899-2103 大里 3869-6
電話番号 36-5000
ホームページ <https://ichiki-naikahifuka.com>

若手社員の企業アピール 佐藤 信二さん



市来内科介護医療院のオープニングスタッフとして入職し、1年4ヶ月が経ちました。「患者様中心の医療」「心の通ったあたたかい医療と介護」の理念のもと、入所者様一人ひとりの心に寄り添い、

“その人らしい”豊かな生活を送るにはどのように支援したらよいか、常に考え介護にあたっています。13床と小規模であるため、じっくりと入所者様と向きあえること、そして、医師・看護師・介護士など様々な職種のスタッフと連携がとりやすく、助け合うことを大切にしている職場だと思います。スタッフみんなと、毎日笑いもあり、また、新しい発見もあり、何よりも、入所者様よりたくさんの笑顔や言葉をもらい、やりがいのある仕事だと実感しています。これから、私達と市来内科・ひふ科・市来内科介護医療院を盛り上げていきませんか？いつでも、仲間をまっています！！